

第2回堺市歴史的風致維持向上計画協議会における主な意見要旨

主な意見要旨

- 歴史的風致を整理した上で、課題となること、すべきことを整理する必要がある。
- 5つの歴史的風致は説明のレベルが異なる印象を受ける。場所を説明するものと、歴史的風致の文脈を説明するものが混在している。
- 環濠都市としての将来の町並みをこうしたいという方向性を示さなくてはならない。
- 祭礼以外の歴史的風致が、古代、中世、近世、近代の各時代に重要なポジションを占めていたことを、都市の成り立ちと関連させながら説明する。
- 古墳群の周遊という点では、近世だけでなく近代においても陵墓を観光する人が多くあった。百舌鳥古墳群に日本各地から訪れていたことを示す必要がある。
- 歴史的風致を構成するものとして、成り立ちと共に、その基盤となる自然環境がどう影響したのかを整理する必要がある。
- 歴史的風致は周遊だけでなく、人々が畏敬の念を抱いて清掃活動などをおこなっていることなどもひとつの活動といえる。
- 阪堺線の輝かしい歴史と経緯や空襲などにより歴史的資源が点在しているという現状、寺町における小学生の活動なども計画に盛り込んでどうか。
- 世界遺産登録に関わらず、市として大切な古墳を保存活用することが望まれる。